

平成26年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月11日

上場会社名 株式会社A.Cホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 1783 URL http://www.ac-holdings.jp
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金井 壮
 問合せ先責任者(役職名) 経理事務連絡担当 (氏名) 平林 友伸 (TEL) 03-5572-7848
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第3四半期の連結業績(平成25年10月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第3四半期	1,968	△16.8	△119	—	△211	—	△250	—
25年9月期第3四半期	2,365	△0.5	△178	—	△154	—	△69	—

(注) 包括利益 26年9月期第3四半期 △255百万円(—%) 25年9月期第3四半期 △2百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第3四半期	△6.19	—
25年9月期第3四半期	△1.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年9月期第3四半期	8,716	7,104	81.5
25年9月期	8,353	7,359	88.1

(参考) 自己資本 26年9月期第3四半期 7,104百万円 25年9月期 7,359百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	—	—	0.00	0.00
26年9月期	—	—	—	—	—
26年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年9月期の連結業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,843	△9.8	△157	—	△249	—	△280	—	△6.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 1社(社名) 創進国際投資有限公司、除外 1社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年9月期3Q	42,442,851株	25年9月期	42,442,851株
② 期末自己株式数	26年9月期3Q	2,000,770株	25年9月期	2,000,770株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年9月期3Q	40,442,081株	25年9月期3Q	40,442,141株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要素により異なる可能性があることをご承知おきください。業績予想に関する事項につきましては、四半期決算短信【添付資料】「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成25年10月1日～平成26年6月30日)におけるわが国経済は、政府の経済政策(アベノミクス)等の効果により、雇用情勢の好転、企業収益の改善が見られたものの、消費税増税の駆け込み需要の反動を受けた個人消費の弱含み、長期にわたるデフレ環境下での生産拠点の海外移転の影響による輸出の伸び悩みなどにより、引き続き先行き不透明な状況が続きました。

このような状況の下、当社グループは、公共事業の堅調な推移を受けて建設事業においては順調に工事が進捗しましたが、ゴルフ・リゾート事業における天候不順の影響などを受けて売上高は前年同四半期と比較して3億97百万円減少し、一方で全体的な経費の削減により、営業損失は前年同四半期と比較して59百万円減少いたしました。

経常損益に関しましては、当第3四半期連結累計期間に持分法による投資損失1億20百万円が発生いたしました。

さらに、純損益につきましては、固定資産売却益5百万円が発生しましたが、ゴルフ場売却に伴う工事費用清算などによる固定資産除売却損により特別損失が22百万円発生するなど、四半期純損失の計上となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高19億68百万円(前年同四半期売上高23億65百万円)、営業損失1億19百万円(前年同四半期営業損失1億78百万円)、経常損失2億11百万円(前年同四半期経常損失1億54百万円)、四半期純損失2億50百万円(前年同四半期 四半期純損失69百万円)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、以下の売上高にはセグメント間の内部売上高または振替高を含んでおります。

① ゴルフ・リゾート事業

ゴルフ・リゾート事業におきましては、天候不順の影響を受け売上高は減少し営業損失も増加しております。この結果、売上高8億90百万円(前年同四半期売上高9億40百万円)、営業損失1億66百万円(前年同四半期営業損失1億59百万円)となりました。

② ファイナンス事業

ファイナンス事業におきましては、ほぼ予定通りに推移し、売上高6百万円(前年同四半期売上高7百万円)、営業利益8百万円(前年同四半期営業利益23百万円)となりました。

③ 建設事業

建設事業におきましては、順調に工事が進捗し売上高が増え、工事原価率も減少したため営業利益が増加しております。この結果、売上高10億53百万円(前年同四半期売上高9億33百万円)、営業利益78百万円(前年同四半期営業損失55百万円)となりました。

④ リアルエステート事業

リアルエステート事業におきましては、前連結会計年度に販売用不動産の売却および固定資産(賃貸用不動産)の譲渡を実施したため、当第3四半期連結累計期間においては売上高が減少しました。一方、新規案件の仕入などにより経費が発生し、この結果、売上高2百万円(前年同四半期売上高4億87百万円)、営業損失42百万円(前年同四半期営業利益12百万円)となりました。

（2）財政状態に関する説明

① 資産

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて3億63百万円増加し87億16百万円となりました。

流動資産は3億円増加し47億34百万円、固定資産は63百万円増加し39億81百万円となりました。流動資産増加の主な内訳は、販売用不動産が仕入により13億70百万円増加し、その他流動資産でも6億92百万円増加した一方、現金及び預金が19億18百万円減少したことによります。

固定資産の増加の内訳は、有形固定資産の減少6億29百万円、一方で無形固定資産の増加1億6百万円、および投資その他の資産の増加5億85百万円であります。このうち、有形固定資産減少の主な要因は、新香木原カントリークラブの土地・建物の譲渡により、建物及び構築物並びに土地が減少したことによります。無形固定資産増加の主な要因は、合同会社箱根山松苑の持分の取得によりおれんが1億9百万円増加したことによります。投資その他の資産増加の主な要因は、持分法による投資損失等により関係会社株式が1億25百万円減少した一方、長期貸付金が4億63万円増加したことによります。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて6億19百万円増加し、16億12百万円となりました。負債増加の主な要因は、短期借入金が4億95百万円増加したことによります。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2億55百万円減少し、71億4百万円となりました。純資産減少の主な要因は、四半期純損失の計上による利益剰余金の減少であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年9月期連結通期の業績予想につきましては、平成26年5月30日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成26年1月29日付けで、ゴルフ・リゾート事業に関するインバウンド事業及び中国・東南アジア圏のリアルエステート市場調査と不動産投資事業を行う目的で、新たに中国・香港に連結子会社（Soushin Interbational CO.,Ltd(創進国際投資有限公司)）を設立し、また、平成26年2月19日付けで優良な販売用不動産を所有する不動産投資会社である合同会社箱根山松苑の社員持分の99%を取得し、連結子会社したため、第2四半期連結会計期間より、創進国際投資有限公司及び合同会社箱根山松苑を連結の範囲に含めております。なお合同会社箱根山松苑は、その後、平成26年3月31日付けで社員持分の1%を追加取得し、完全子会社となっております。また平成26年4月10日より創進国際投資有限国際会社の100%子会社である創進国際投資（中国）有限公司を連結の範囲に含めております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,020,164	2,102,226
受取手形・完成工事未収入金等	291,886	277,876
リース投資資産（純額）	51,396	49,307
商品	11,717	155,820
材料貯蔵品	11,622	11,728
販売用不動産	19,194	1,389,400
未収入金	16,272	40,038
その他	29,800	722,014
貸倒引当金	△17,435	△13,687
流動資産合計	4,434,620	4,734,726
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	537,691	475,698
機械装置及び運搬具（純額）	46,895	47,492
工具、器具及び備品（純額）	9,966	9,469
土地	2,351,327	1,794,075
建設仮勘定	9,240	—
有形固定資産合計	2,955,120	2,326,736
無形固定資産		
のれん	—	109,398
その他	10,425	6,674
無形固定資産合計	10,425	116,073
投資その他の資産		
投資有価証券	1,123	1,123
関係会社株式	761,945	636,633
長期貸付金	297,750	761,425
長期未収入金	28,024	26,452
その他	164,919	408,875
貸倒引当金	△300,658	△295,512
投資その他の資産合計	953,103	1,538,997
固定資産合計	3,918,648	3,981,808
資産合計	8,353,270	8,716,534

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	261,306	220,431
短期借入金	—	495,000
未払法人税等	12,213	4,121
未払消費税等	20,288	24,272
賞与引当金	1,953	5,628
ポイント引当金	21,137	21,623
繰延税金負債	—	129,399
その他	226,024	250,406
流動負債合計	542,923	1,150,884
固定負債		
退職給付引当金	122,419	122,903
役員退職慰労引当金	25,715	19,252
資産除去債務	2,036	15,937
繰延税金負債	—	5,914
その他	300,246	297,246
固定負債合計	450,417	461,253
負債合計	993,341	1,612,138
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,500,000	3,500,000
資本剰余金	4,577,779	4,577,779
利益剰余金	△154,730	△405,261
自己株式	△604,079	△604,079
株主資本合計	7,318,968	7,068,437
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△53	△55
為替換算調整勘定	41,014	36,014
その他の包括利益累計額合計	40,960	35,959
純資産合計	7,359,928	7,104,396
負債純資産合計	8,353,270	8,716,534

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
売上高	2,365,808	1,968,016
売上原価	1,453,986	963,223
売上総利益	911,822	1,004,792
販売費及び一般管理費	1,090,673	1,124,381
営業損失(△)	△178,851	△119,589
営業外収益		
受取利息	5,576	11,609
受取配当金	69	63
受取給付金	1,924	1,829
持分法による投資利益	420	—
投資不動産賃貸料	10,095	—
雑収入	20,148	20,131
営業外収益合計	38,232	33,634
営業外費用		
支払利息	—	2,468
持分法による投資損失	—	120,310
投資不動産賃貸費用	10,368	—
その他	3,777	2,796
営業外費用合計	14,145	125,575
経常損失(△)	△154,762	△211,530
特別利益		
固定資産売却益	100,262	5,419
受取保険金	12,872	—
その他	22	—
特別利益合計	113,157	5,419
特別損失		
投資有価証券売却損	23,261	—
固定資産除売却損	808	22,862
工事補償金	—	10,655
その他	1,004	—
特別損失合計	25,074	33,518
税金等調整前四半期純損失(△)	△66,679	△239,629
法人税等	2,449	10,901
四半期純損失(△)	△69,128	△250,531

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
四半期純損失(△)	△69,128	△250,531
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	22,025	—
持分法適用会社に対する持分相当額	44,687	△5,001
その他の包括利益合計	66,712	△5,001
四半期包括利益	△2,416	△255,532
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,416	△255,532

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (千円) (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 2
	ゴルフ・リ ゾート事業 (千円)	ファイナ ンス事業 (千円)	建設事業 (千円)	リアルエス テート事業 (千円)	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	940,896	4,055	933,046	487,810	2,365,808	—	2,365,808
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	3,443	—	—	3,443	△3,443	—
計	940,896	7,499	933,046	487,810	2,369,252	△3,443	2,365,808
セグメント利益又は損失(△)	△159,753	23,462	△55,698	12,436	△179,552	700	△178,851

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年10月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						調整額 (千円) (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 2
	ゴルフ・リ ゾート事業 (千円)	ファイナ ンス事業 (千円)	建設事業 (千円)	リアルエス テート事業 (千円)	その他 (千円)	計		
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	890,881	2,443	1,053,408	2,302	18,980	1,968,016	—	1,968,016
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	4,384	—	—	—	4,384	△4,384	—
計	890,881	6,827	1,053,408	2,302	18,980	1,972,400	△4,384	1,968,016
セグメント利益又は損 失(△)	△166,322	8,845	78,782	△42,048	460	△120,282	693	△119,589

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、合同会社箱根山松苑の出資持分を取得し、新たに連結の範囲に含めております。これにより、前連結会計年度の末に比べ、第3四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、リアルエステート事業において2,023,068千円増加しました。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「リアルエステート事業」セグメントにおいて、販売用不動産を保有する不動産保有ビーグルである合同会社箱根山松苑を取得いたしました。当社の市場調査により、同社の資産に超過収益力が見込まれた為、同社純資産を上回る金額での取得に合意いたしました。当該事象によるのれんの増

加額は、当第3四半期連結累計期間においては、109,398百万円であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。